

## ◇ 理想の土地 ◇

家を建てるためには、先ず土地を探す必要があります。自分に見合う良い土地が見つからないと、敷地探しにも苦労する場合があります。

誰もが多くの事項で希望に叶う理想の土地を購入したいのですが、現実的には困難が伴うようです。

建築地域は、希望する方面、学校に近く、日当たりの良く、敷地面積も適切、買い物の商店が近く、南側道路で、そして安価な価格と…すべてが叶う事などと、理想を云えば実際はかなり大変なことになります。

根気よく探し続け、新しい情報が出るまで待ち続けても、見合う土地に出会うことが出来ず、一定の場所で妥協する方もいるようです。

不動産情報サイトなどで検索し、掲載されている物件を次々と見に行っても、何らかの不満があるものです。敷地形状により、建物のプランに影響してきます。逆に建物のプランで敷地の課題を解消できることもあります。北向き（北側道路）、三角形の土地、段差のある土地などでも注文住宅の場合は、設計次第で魅力的な明るい住まいをつくることができます。

家づくりは、土地探しから施工担当の工務店担当者と一緒にすることをお勧めします。実際に土地を購入し家を建てる場合は、土地代金の他に敷地高低差があれば、土留めの擁壁費用、給排水の接続費用、水道管は離れた場所から接続費用など、土地が安くても他の部分で費用が掛かる場合があります。

家づくりは、最初の計画全体の時点から予算も含め、様々な諸問題の解消方法を工務店様と一緒に思考することをお勧めします。

## ◇ もう一度考える ◇

誰もが環境の整った良い土地を希望するのは当然です。なかなか敷地の決まらない方の多くは、パーフェクトに気に入った土地を探しているか、気にいってももっと良い土地が出るのではと決断できないケースがあります。

また多くの土地を見て、何が良くて何が良くないのかが解らなくなる場合もあります。更には、希望の地域の土地が、全く見つからない場合もあります。

自分達の家づくりに求める物は何か、今一度考えてみる必要があります。その求めているもの幾つか当てはまれば、躊躇している時間はありません。その間に他の方に手付金を打たれるケースもあります。敷地探しには、ご縁もあり、急いで決断しても先に手付金を支払った方がいる場合もあります。その際は、

その土地にご縁がなかったと気持ちを切り替えることも大切です。土地が決まらず住まいづくりをあきらめる方もいます。そんな時は、なぜ家づくりを計画されたのかを振り返り思い返すべきです。

家づくりの動機と、何故その土地を探しているのか、諦めて後悔しないのか、最善の計画だったのかなど、自分たちが求めていたものの優先順位を辿って行く事で、重要なことに気付く事も多くあるものです。

## ◇ この時期ならではの ◇

不動産情報サイトなどで気になった土地を見に行く際は、下見も含め何度も足を運ぶべきです。

平日と休日、昼と夜、天気の良い日など見に行くタイミングで違って見えることもあります。悪い部分を見るだけでなく、ここに住んだら、どのような良い事、そして良くない事があるかもイメージしてみるべきです。

ご近所の方がおられたら声をかけ、まわりの状況や環境を聞いてみるのも大切です。一生涯住み続ける場所でもあり、ご近所付き合いも大切です。

積雪地域では、冬季間だと敷地が雪で覆われ、詳細を把握できない場合もありますが、この時期ならではの道路状況や除雪状況などの確認ができます。

春夏秋冬の敷地環境を、四季を通じて検証するくらい、土地探しには時間をかける人もいます。

ご家族と一緒に土地を見に行き、家族みんなが笑顔になれば、その土地にご縁があるのかもしれない。自分を信じ、ご家族誰もが笑顔になれる家づくりができるのは、最適な土地を選びが重要な要素となります。

(ハウジング事業部 岩山不二夫)

## 幸太の知恵袋

### なぎそねこ

信州・南木曾町に昔から伝わる防寒着に「ねこ」があります。「ねこ」は伝統的工芸品の「ろくろ」細工や桧笠などの製作の際に、邪魔にならないように袖なしにして、冷える背中だけを暖めるように工夫されてきました。

「ねこ」の名前の由来は、「ねんねこ半纏から」、「作業している姿が猫背だから」、「猫のように暖かい」などの諸説があるそうです。

背中を温めることで冷えの改善効果は高そうですね。

建築情報や知識は、ファース本部オフィシャルサイトで!



ファースの家

検索

